

13:30
〜
14:30

トークタイム Fine名誉会員証の贈呈

赤ちゃんがほしい！ その時の妻のキモチ・夫のココロ

爆笑問題・太田 光さんのパートナーであり、所属プロダクションの社長をはじめ、ハーブ専門店の経営など、多方面で活躍する太田光代さん。10年ぶりに不妊治療を再開したことが話題に。治療のこと、夫婦のこと、今の気持ち……。どんな話が飛び出すか、お聞き逃しなく!

NPO法人
Fine名誉会員
第3号

太田光代さん

株式会社タイタン 代表取締役社長
「爆笑問題」太田 光さん夫人



不妊治療では、どうしても女性だけががんばってしまいがちです。最近は、少しずつ状況が変わってきたのを感じていますが、もっと社会に向けて不妊や不妊治療について理解を深めるようなお手伝い如果能したら、と思っています。

「Fine祭り 2011」では、私の治療中の思いをはじめ、ストレス解消法やリラクスのアイデアなどをお話したいと思っています。それがあなたにとって何かのヒントになればうれしいです。

みなさんと会場でお会いするのを楽しみにしています!

1964年東京都生まれ。モデルを経て、タレントとして活躍。90年に「爆笑問題」の太田 光さんと結婚。93年、芸能プロダクション「タイタン」を設立して社長に就任。多くのタレントを抱えるプロダクション経営者として活躍するほか、ハーブ専門店「ウィッチムーン」、フラワーショップ「a Flower of Grass アリエル」、トータルリラクゼーションスペース「キュービット・ハート」なども展開、多方面で活躍中。

●太田光代さん [twitter](http://twitter.com/#!/ota324) <http://twitter.com/#!/ota324>

●タイタンホームページ <http://www.titan-net.co.jp/>

●タイタンハッピー (タイタンオフィシャルファンクラブサイト)

<http://www.titan-happy.jp/>

不妊って、こんなに深いものだったの?!

——太田光代さんの不妊治療体験

「私と夫は、ともに一人っ子。両親に孫を抱かせたいという思いから、自分ができる努力はしようと思い、30代半ばに通院を始めました」という太田さん。仕事との両立のために早朝から通院し、薬の副作用に苦しみつつ、3年ほど治療を続けました。

それから約10年、再び治療にトライしたのは、季刊雑誌「赤ちゃんが欲しい」で「太田光代の夫婦問題相談所」の連載を始めたのがきっかけ。

「不妊治療中の方からの相談に答えるには、実際に自分でも現在の治療を受けてみようと思ったのです」(太田さん)。

10年前に比べると、排卵誘発のための自己注射が可能になっていたり、使う薬が変わって以前のような副作用に悩まされずすんだりと、時間や身体の負担が軽くなったのを感じ

じたそうです。

そして、10年前には抵抗があった顕微授精が身近な治療法になっていたことから「子どもを授かる方法の一つとしてトライする」ことに。採卵や胚移植のときには、ドクターや胚培養士さんが受精卵を大切に扱っている様子を見て、胸が熱くなったといいます。

「治療したことで、初めて私たち夫婦の受精卵を見ることができたのです! 愛おしいような、なんともいえない不思議な感覚が湧いてきました」と太田さん。また、受精卵を目にしたことで「どこからが命なのだろう?」「この時代に子どもを育てるとはどういうこと?」など、いろいろと考えるようになり、「不妊・妊娠・出産って、こんなに深いものだったの?!」とあらためて感じているそうです。